

[カレッジ・はなみづき] 新聞

第61号 H.27.8.14.

発行 [カレッジ・はなみづき]

《柏市里山保全の取り組み》
柏市都市部公園緑政課
《根戸・であいの森》
柏里山八期の会

六月十二日(金) 公園緑政課

小笠原、渡邊、古橋氏、柏里山八期の会山本、中島氏、以上五名の方がお越し下さり、里山について話して頂いた。

学習記録 文責 莉都



話。現在柏市の里山は東京ドームにすると230個分ぐらい失ったとの事、緑が少なくなつて所有者の方達の高齢化が進み、管理、維持が難しくなつてきた昨今なので市(行政)が間に立って平成22年よりカシニワ制度を作った。現在一期から九期まである中で、今回見学予定だった8期の会の

方話を伺った。活動2年目で0.5ha(200坪)一年目は雑木林の下草刈り、毎日の地道な作業で主に杉、竹があり傾斜ありで人数も限られている事だから大変だったと思う。その後木も伐採や森の中に入ってやる仕事は限りなくありエンドレスと思うが、周りの景色や風の音、鳥の声等がちよつとつ変わっていくのを肌で感じ取ることが出来るのは最適ですね。その空間にいる事が発見であり感動もあると思う。同じ仲間がいて近所の方が協力的に温かく迎えてくれる場所、そして今日からここに来る人は友達だよ、おいで楽しく過(こ)そうよと森のささやきが聞こえてくるような場所が森なのかな?タヌキと目と目が合

た。活動2年目で0.5ha(200坪)一年目は雑木林の下草刈り、毎日の地道な作業で主に杉、竹があり傾斜ありで人数も限られている事だから大変だったと思う。その後木も伐採や森の中に入ってやる仕事は限りなくありエンドレスと思うが、周りの景色や風の音、鳥の声等がちよつとつ変わっていくのを肌で感じ取ることが出来るのは最適ですね。その空間にいる事が発見であり感動もあると思う。同じ仲間がいて近所の方が協力的に温かく迎えてくれる場所、そして今日からここに来る人は友達だよ、おいで楽しく過(こ)そうよと森のささやきが聞こえてくるような場所が森なのかな?タヌキと目と目が合



つたとの話に思わず笑ってしまったが、カシニワフェスタで畑を利用しそこに花を添える人にさりげなくおもてなし。話の内容に感動、感心し、自分の子供の頃を思い出したのでないかしら。少しでも里山として多く残してくれる事が未来への橋渡しなのでしよう。最後に里山心の親類を得たようなふわつとした気持ちになった。



《脳に関わる話》 脳の不思議・感性トレンド 広瀬英彰氏



「脳の気分」を制する者が人間

七月十日(金)「潜在脳の不思議。2つの回路が気分を生み出す」

関係を制する、他のお話。広瀬先生はNASAの「アポロ」で活躍後、帰国して全国各地自治体他の主催事業の企画運営を指導、脳の話のみならず



宇宙、電子、水、災害、山岳スポーツと万能知識で多岐に亘る教育に尽力なさっている。溢れ出る話術に魅了され、脳が少し刺激を受けたような? 《学習記録 文責 角田》
脳の不思議をあらゆる角度から検討し比較した講演は非常に分かりやすく納得のいくものだった。脳は私達が考えている以上の働きがあるのだ。例えば心で悩めばマイナスイメージとして、体で悩めばプラスイメージとして、脳は理解する。コントラストの強い方を集中して見れば知らずに強い方を認識させる。そして普段何気なく使用する言葉にも実はいろいろな背景を見ることが出来るというのだ。赤ん坊が最初に発声する「マンマー」「ママ」は「m」で始まり、私達は無意識に「m」のつく商品を選ぶ傾向がある。良く売れる車には「c」や「s」をつ



ける等、商品名は脳を意識して作られているというから驚きだ。それから感性コミュニケーションと考えば、性別の違いまでもが脳によって決定されるといふ。女性脳は情を重んじ、男性脳は合理的な思考で、まさにアナログとデジタル、時に夫婦の意見が一致しないのも無理はない。他に大衆の気分というものも脳の周期がある。現在はソフト志向からハード志向へ。これからは28年ぶりの男性志向の時代かな? かいつまんだだけでもこんなに多く脳は休みなく新旧交代で刺激ある有効な時間を過ごしている。高齢化時代、認知症予防対策をテレビ等で取り入れながら脳を活性化させ、より脳を意識して人生を送っていきましょう。

